

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数6月 製造業・非製造業ともに低下

製品価格の上昇により新規受注が大幅に減少、在庫の増加も

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

景況感は製造業・非製造業ともに前月から低下

全米供給管理協会(ISM)が1日に発表した、6月の製造業景況感指数は53.0と前月の56.1から低下しました。また、6日発表の6月の非製造業景況感指数も55.3と、前月の55.9から低下しました(図表1)。

中国上海市で、新型コロナウイルス対策のロックダウン（都市封鎖）が約2カ月ぶりに解除されたことなどから、サプライチェーン（供給網）の混乱に解消の兆しがみられるものの、エネルギーや原材料価格の高騰を主因としたインフレの高進を受け、製造業を中心に多くの業種で受注が伸び悩んだことが主な要因とみられます。

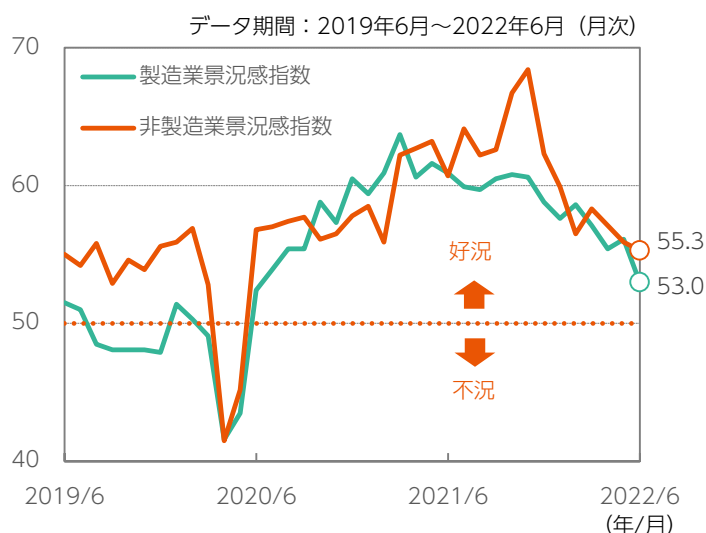
業種別では、製造業は18業種中、家具や紙製品、木製品を除く15業種で、非製造業は18業種すべてで業況の改善が報告されました。一方、アンケートでは、人材不足や原材料の高騰を背景に、先行きについて慎重な姿勢も見受けられました。

製造業の新規受注指数が大幅に低下

景況感指数を構成する指数のうち『新規受注』指数が製造業・非製造業ともに低下し、製造業は49.2と、好不況の節目となる50を約2年ぶりに下回りました（図表2）。

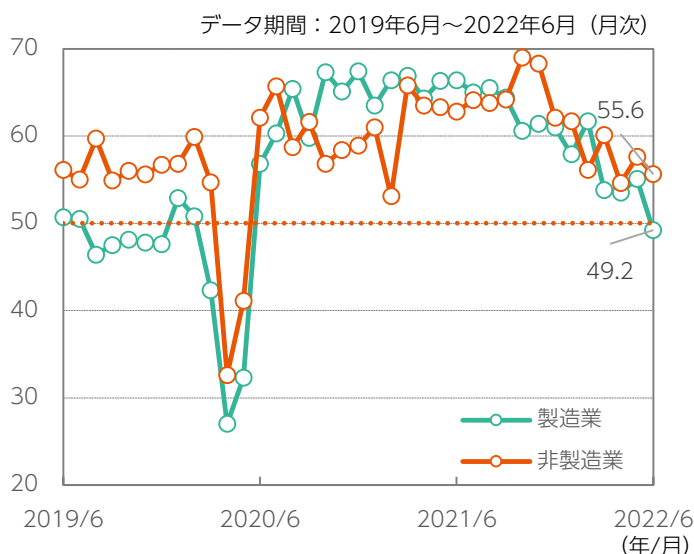
原材料価格の高騰により企業は価格転嫁を余儀なくされています。製品価格の上昇にともない需要は低迷しており、一部の業種では過剰在庫のため、受注を減らす動きも見られているようです。経済活動の再開と足並みを揃え、これまで拡大が続いてきた景況感指数は、新規受注の減少が足かせとなり、今後は低下基調をたどることが予想されます。

図表1：景況感は製造業・非製造業ともに低下



※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表2：受注減や過剰在庫により新規受注指数は低下



※ISM製造業・非製造業景況感指数の構成指数（新規受注）の推移

出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>